

令和5年4月20日

紫波町議会議長 武田平八 殿

会派名 紫 政 会

代表者名 北 條 喜 久 男



令和4年度政務活動費に係る収支報告について

紫波町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和4年度政務活動費に係る収支報告

会派名=紫 政 会

1 収 入

政務活動費 400,000 円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	主たる支出の内容
調査研究費		
研 修 費	380,140	研修受講料、交通費、宿泊代
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
広 報 費		
事 務 費	4,280	取扱手数料
合 計	384,420	

3 残 額

15,580円

注 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書の写しを添付すること。

政務活動費支出明細書（会派名＝紫 政 会）

（研修費・1枚のうち1枚）

No	支出年月日	件名	内 容	金額（円）	備 考
1	令和4年 7月11日	交通費	サン・ビレッジ紫波－ 宮古三陸鉄道株式会 社－市内昼食－田老 地区－サン・ビレッジ 紫波	87,220	三八五バス(株) 12,460円×7人
2	令和4年 11月24日	交通費	往路 紫波中央駅－盛岡－ 仙台 帰路 仙台－盛岡－紫波中 央駅	82,920	新幹線代 13,820円×6人
		宿泊費	ホテルモンテエルマ ーナ仙台	30,000	5,000円×6人
3	令和4年 11月25日	受講料	人口減少対策・地 方創生特別研修	180,000	30,000円×6人
計				380,140	



別紙

調査研究等経費内訳

(氏名又は会派名=紫 政 会)

調査研究費 ・ <u>研修費</u> (いずれかを○で囲む)						
	交通機関名	経 路	計 算	計	備考	
交 通 費	貸切りバス	サン・ビレッジ紫波—三陸 鉄道株式会社				
		市内昼食—田老地区—サン・ ビレッジ紫波	12,460×7 人	87,220 円		
		小計			87,220 円	
	宿 泊 料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	小計					
	取扱手数料		140 円×7 人=980 円			

合 計	88,200 円
-----	----------

調査研究等経費内訳

(氏名又は会派名=紫 政 会)

調査研究費 ・ <u>研修費</u> (いずれかを○で囲む)					
交通機関名	経 路	計 算	計	備考	
交 通 費	新幹線代金	往路 紫波中央駅—盛岡— 仙台			
		帰路 仙台—盛岡— 紫波中央駅	13,820 円×6 人	82,920 円	
		小計		82,920 円	
宿 泊 料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	11 月 25 日	ホテルモンテエルマーナ 仙台	5,000 円×6 人	30,000 円	
	小計		30,000 円		
研修受講料		30,000 円×6 人=180,000 円			
取扱手数料		550 円×6 人=3,300 円			

合 計	296,220 円
-----	-----------

## 調査研究等実施報告書

(氏名又は会派名＝紫政会)

実施年月日	令和4年7月12日(火)
参加者名 (7人)	北條喜久男 箱崎勝之 作山秀一 藤原修一 細川 久 阿部美佳子 佐々木純子
目的	紫政会の政策課題である「地域防災及び安全対策」に関する研修を三陸鉄道株式会社及び「田老の学ぶ防災ガイド」を視察し、紫政会の今後の活動に資する。
行先	1 宮古市三陸鉄道株式会社本社 2 宮古市田老地区
対応者 又は 主催者	1 三陸鉄道株式会社本社 金野淳一(取締役) 皆川哲也(事業本部総務部総務課副主任) 2 宮古観光文化交流協会 田老の学ぶ防災語り部ガイド 中濱
概要及び所見	<p>政策課題「地域防災及び安全対策について」に取り組む中で、東日本大震災、2019年東日本台風により甚大な被害を受け、復旧した経緯や現状を聞き「平時からの備え」を学ぶ。</p> <p>1 三陸鉄道株式会社 1981(昭和56)年 会社設立 1984(昭和59)年 第3セクターとして南リアス線(盛～釜石)、北リアス線(宮古～久慈)を開業、地域の生活を守る公共交通機関として運行 2011(平成23)年 3月11日東日本大震災発生、地震、津波で大きな被害が発生し全線不能 3月16日 北リアス線陸中野田～久慈間運転再開(無料乗車) その後、2019年には全線開通 2019(令和元)年 台風19号の影響によりリアス線7割が不通となる。</p> <p>三陸鉄道の指令室を見学した。全線を3か所に分けて指令をしていた。津波の被害を避けるため、2階に設置された部屋において2人体制で行われていた。車両整備施設では、車両の下から車体の様子を見ながら整備の内容を確認した。</p> <p>三陸鉄道は、東日本大震災の際に災害の少ない線路を利用して地域の人のために僅かでも車両を動かした様子を伺い、災害が大きければ大きいほど公共交通の復旧が被災者の方々の支えになることを感じた。復旧の際は、国内外や国や地元自治体の支援のほか、特にクウエートより80億円ほどの支援があったそうだ。復旧事業が速やかに行なわれるために、復旧予算の確保や人材確保も課題と捉えた。</p> <p>当町においては、地震、自然災害の際はJR線が南北に通リアンダ</p>

<p>概要及び所見</p>	<p>一パスの浸水や線路や新幹線の跨線橋が破壊された際は町が東西に分断されることになる。最悪の場合を想定する避難行動や復旧のためのシミュレーションは常に最悪の場合を想定して準備することが必要と捉えた。</p> <p>2 2011、3,11 に学ぶ防災</p> <p>田老地区の津波防災対策と 3,11 の体験を防潮堤の上と震災遺構「たろう観光ホテル」の中で伺った。</p> <p>10 メートルの高さの防潮堤の上から現在は海が見えない高さの防潮堤を作り、さらに住民が高台に移転をしている。この防潮堤は三陸津波（昭和 3 年 3 月 3 日）の際に地域を守るために建設されたものである。このように更に高い防潮堤を建設されたことに、地域を守りたいという思いが強く感じられた。語り部の方が「津波が来る、逃げろ」という言葉に海が見えないため、防潮堤に登り海を眺めて逃げ遅れた人や、せっかく高台に逃げても僅かな時間に家に戻り逃げ遅れた人の話を伺った。</p> <p>最後に「どの様に避難するか、避難したら戻らないという判断力が必要」という言葉が重く感じた。身近にその場にいなければ発することのできない言葉に、自身の生活する場所の特徴と近所の人達とのコミュニティの中で、避難行動をする際の地域内の連携について日頃より備えることの重要性を感じた。</p> <p>帰路には、岩泉町を通過したが台風の復旧工事が完了していない様子を見て、河川の復旧に時間がかかることが分かった。一日も早く復旧が終わり日常生活に戻ることを願う。</p>
<p>経 費</p>	<p>88,200円</p>



## 調査研究等実施報告書

(氏名又は会派名 = 紫政会)

実施年月日	令和4年11月25日(金)～26日(土)
参加者名 (6人)	北條喜久男 箱崎勝之 藤原修一 細川 久 佐々木純子 阿部美佳子
目的	紫政会の政策課題である「学校教育、子育て支援」及び「地域防災」に関する研修を通して、町の今後の取り組みに資する。
行先	宮城県仙台市 TKRガーデンシティPREMIUM仙台 仙台市NHK震災伝承施設
対応者 又は 主催者	地方議員特別研修講師 牧瀬 稔 仙台市NHK震災伝承施設 係員
概要及び 所見	<p>研修Ⅰ 11月25日(金) 10:00～12:30 「子ども」に関する各種施策の現状と課題</p> <p>所感 子どもを取り巻く課題(貧困・虐待・いじめや不登校・自殺等)と子どもに関する条例を総合的(子どもの権利・施策推進)、個別課題(子どもの安全・安心)に対応した条例等を各種テーマごとに学んだ。 自治体の目的は「住民の福祉の増進」にあり、言い換えれば住民の幸福感(福祉)を増進(向上とはやや違う)させることにある。 子どもに関する課題は地域性が強く、多岐にわたっているため、地方自治体として先手を打って条例化する必要性と交通安全や不登校、子どもの貧困防止に関する条例がないことも知り、当町の事情に合わせて条例化していくことを検討したい。</p> <p>研修Ⅱ 11月26日(土) 10:00～12:30 人口減少対策と地域活性化の取り組み</p> <p>所感 地域活性化の各種事例(鬼太郎ロード・海軍カレー・葉っぱビジネス・地吹雪体験ツアー)、ブランド(差別化)、イメージ構築の必要性が地域活性化につながり、近年の地方創生、2010年前後に日本に登場したシビックプライド(定住人口の維持・増加の期待)が人口減少対策になる。 シビックプライドの指標として愛着(このまちが好き・親しみ・</p>

	<p>離れても戻ってきたい)、誇り (このまちに住んでいる自分が好き・大切・ステータスを感じる)、共感 (住民の価値観・楽しい・自分に合っている) があり、住み続けたい・人に勧めたいについてランキングしている。</p> <p>人口減少対策と地域活性化の取り組みは、当町に限らず全国的な問題であり、成功事例を参考に検討していきたい。</p> <p>研修Ⅲ 11月25日 (金) 15:00~16:00 NHK 震災伝承施設見学 東日本大震災メモリアル、VR映像体験、3.11シアター こころフォト、番組公開ライブラリー、8Kの映像が語る 震災遺構、どーもくんの防災クイズ、杜のスタジオなどが 設置された施設でした。</p> <p>教訓として 「巨大」「高い」は非常事態! ここなら安心と思わず、より高い所を目指しましょう。 津波は繰り返し襲ってきます。 絶対に戻ってはいけません、ためらわずに避難を!</p>
<p>経 費</p>	<p>296,220円</p>

# 領 収 証

2002年 7月 11日

A No. 071655

紫 政 会 様

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				9	8	8	2	00



- 1 現金 但し2002年7月12日から
- 2 小切手 年 月 日までの
- 3 振込 1 バス代、宿泊代、印刷代
- 4 友の会 2 旅行代金

上記の金額正に領収致しました。



## 三八五バス株式会社

- 本社営業所 〒031-0801 青森県八戸市江陽2丁目18-37  
TEL:0178-24-3331 fax:0178-44-6018
- 青森営業所 〒030-0931 青森県青森市大字平新田字森越92-1  
TEL:017-726-5888 fax:017-726-5890
- 三沢営業所 〒033-0123 青森県三沢市三沢字堀口17-40  
TEL:0176-54-2031 fax:0176-54-4588
- 盛岡営業所  〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76  
TEL:019-684-6161 fax:019-684-2887
- 仙台事務所 〒983-0004 宮城県仙台市宮城野区岡田西町1番10号(東北三八五流通圏内)  
TEL:022-390-1385 fax:022-390-1388

出納印	扱者印

社印並びに扱者印の無いもの、複写でないもの、金額訂正のものは無効と致します。

領収証

2022年11月25日

紫政会 様

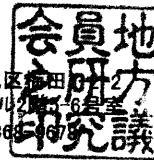
★ ￥180,000

但 11/25 10時～「子ども」に関する各種施策の現状と課題  
11/26 10時～ 人口減少対策と地域活性化の取組み  
6名様 研究会受講代として

上記正に領収いたしました



地方議員研究会  
〒530-0001  
大阪府大阪市北区梅田  
大阪駅前第2ビル2階46号室  
TEL 050-6869-079



領収証

2022年11月24日

A No. 073311

紫政会 様

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
	1	7	0	0	6	0	0	0



1 現金 但し2022年11月25日から  
2 小切手 年11月26日までの  
3 振込 1 バス代  
4 友の会 2 旅行代金

地方議員研究会 文庫 宛

上記の金額正に領収致しました。



三和バス株式会社

本社営業所 〒031-0801 青森県八戸市江陽2丁目18-37  
Tel: 0178-24-3331 fax: 0178-44-6018

青森営業所 〒030-0931 青森県青森市大字平新田字森越92-1  
Tel: 017-726-5888 fax: 017-726-5890

三沢営業所 〒033-0123 青森県三沢市三沢字堀口17-40  
Tel: 0176-54-2031 fax: 0176-54-4588

盛岡営業所 〒020-0767 岩手県滝沢市大釜中道76  
Tel: 019-684-6161 fax: 019-684-2887

仙台事務所 〒983-0004 宮城県仙台市宮城野区興田西町1番10号(東北三和五滝通境内)  
Tel: 022-390-1385 fax: 022-390-1388

出納印	扱者印

社印並びに扱者印の無いもの、複写でないもの、金額訂正のものは無効と致します。